

令和7年度 大阪府環境審議会 第4回 環境・みどり活動促進部会 議事概要

日 時：令和7年9月25日(金)13時00分～15時00分

開催方法：大阪府庁本館5階 正庁の間

出席者：増田委員(部会長)、藤田委員(WEB)、平井委員(WEB)、畠委員

1 開会

2 議題 「みどりの大坂推進計画」の見直しについて

(1)部会報告素案について

事務局より、議題(1)について説明し、各委員から意見を伺った。委員からの主な意見等は以下のとおり。

第1章 みどりを取り巻く状況

■SDG の記載について

増田部会長

・計画の期中に SDGs の目標年(2030 年)を迎えるため、ポスト SDGs への対応にも触れておく必要がある。

⇒(事務局)第 4 章「進行管理」で、2030 年度を目途に見直す旨を記載済み。ポスト SDGs についても P3 で触れている。

平井委員

・SDGs の図が計画の最初に出てくるのが古い資料を見ている印象を受けた。

■生物多様性について

平井委員

・生物多様性国家戦略が、「国際的な動向」の中に出ているが、国内の動向に入るべきでは。

・みどりと関連が深い「30by30」や「OECM」にも触れるべき

■人口減少、気候変動

増田部会長

・人口減少による担い手不足が深刻化している点に触れること。府域における気候変動に伴う平均気温上昇や豪雨頻度の増加などにも触れること。

第2章 大阪のみどりづくりの方向性

■みどりの効果について

増田部会長

・「サードプレイス」の概念を「みどりの効果」として明示すべき。

■めざすべき将来像について

増田部会長

- ・13 ページ<将来像>について、「みどりのポテンシャルを活かす」から「みどりの効果を活かす」に表現修正。

■みどりの将来像図について

増田部会長・藤田委員

- ・「きめ細やかなみどりのイメージ図」について、学校があるのであれば、保育園は特出しあなくてよいのでは。また、河川、水路など「水辺のみどり」のようなものを追記してはどうか。

畠委員

- ・「きめ細やかなみどりのイメージ図」について、具体的に府域全体の状況を表現するのは難しいので、みどりのネットワーク図を縦長にして、それぞれのポイントのところに、河川、丘陵、農地などを丸の中に入れたような、抽象図の方がよいのでは。

増田部会長

- ・「きめ細やかなみどりのイメージ図」と府域の図との連動がわかりにくいので、連動がわかるように表現の工夫を。

平井委員

- ・自然共生サイトが水色になっているが、自然共生サイトもみどりなので緑色で表現。港湾部内の緑地も紫色でない別色で示す工夫を検討してほしい。

増田部会長・畠委員

- ・「臨海部」という言葉について、港湾のイメージがあるので、海辺緑地や海岸緑地といった表現でどうか。また、色も紫で無い方がよい。

第3章 大阪のみどりの取組方針・取組項目

■コラムについて

増田部会長

- ・都市公園のコラム事例が郊外部に偏っている。都心部事例(うめきた公園等)も掲載し、府内全体のバランスを取るべき。

平井委員

- ・自然共生サイトについて、令和7年度第1回認定が先日発表されたので、その事例も含めてどれを掲載するか検討を。

増田部会長

- ・府民の方に興味を持ってみていただくため、府民の森、河川緑地、都市農地など、できる範囲でコラムの充実の検討を。

第4章 計画の推進体制・進行管理

■各主体の役割と連携について

増田部会長

- ・P22 表3の上の文章について、12 ページの「3.めざすべき将来像」を達成するために、各役割はこういう役割を果たしてくださいという文章の形態に修正。
- ・「学」分野には技術開発やイノベーションの役割を追記。
- ・環境・農政など、部内他の行政計画の確認をし、遜色無い記載とすること。

藤田委員

・表3について、これでよいのか改めて点検を。

■進行管理について

畠委員

・必要に応じて見直すことは重要だが、文章内容があっさりしすぎている印象。

平井委員

・抽象的に書いて広い範囲をカバーしていると思うが、もう少し書けないか検討を。

その他(資料・表記・構成上の意見)

増田部会長・藤田委員・平井委員

・ESG投資、TNFD、自然共生サイトなど、略語や府民にわかりにくい言葉については必要に応じて注釈を入れること

・Qネットの記載について、経年を比較できる指標なのがそうでないのか、記載を整理すること。